



RoomOS 11.1

Cisco Board および Board Pro ユーザーガイド

コンテンツ

このユーザ ガイドの内容

はじめに	注釈または描画をメールで送信する.....	33
RoomOS 11: 基本的なナビゲーション.....	有線タッチのリダイレクト	34
自分の資格情報を使用してサインインする	Web アプリ	35
ビデオコール	スケジュールされたミーティング	
RoomOS 11: コールの制御.....	スケジュールされたミーティングに参加する	37
音声設定.....	Webex ミーティングに参加する.....	38
連絡先リストから発信する	連絡先	
発信する前に連絡先を編集する.....	お気に入り、発着信履歴、ディレクトリ	40
名前、番号、またはアドレスを使用して発信する	通話中にお気に入りに追加する.....	41
着信コール	非通話時にお気に入りに追加する	42
別のコール中にコールを受信する	お気に入りを編集.....	43
通話から自身を切断する.....	カメラ制御	
コールを保留にし、保留中のコールを再開する.....	カメラをオンとオフを切り替える	45
継続中のコールを転送する	通話中または通話中以外のセルフビューへの	
着信拒否を有効にする	アクセスと調整.....	46
すべてのコールの自動転送	セルフビューを移動する	47
通話中にキーパッドを開く	自動カメラモードの選択.....	48
継続中の通話に参加者を追加する	カメラを手動でコントロールする	49
電話会議から参加者を切断する.....	遠端カメラ制御.....	50
参加者をミーティングに許可する	設定	
ミーティングでスピーカーを固定する	コントロールパネルとデバイス設定.....	52
ミーティングで挙手する.....		
最近の通話の通話詳細を検索する		
シスコ プロキシミティ設定		
Cisco Proximity の超音波信号.....		
コンテンツ共有		
通話中にコンテンツを共有する.....		
ホワイトボード機能.....		
セッションを終了して、Board をクリアします.....		
共有コンテンツに注釈を付ける.....		

格納ファイルのすべてのエントリは、対応記事に移動するためのアクティブハイパーリンクです。

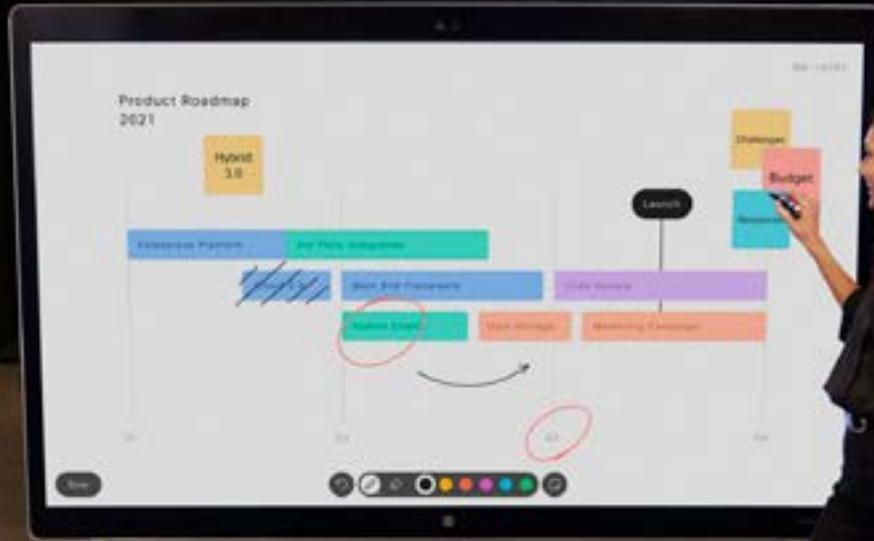
チャプター間を移動するには、サイドバーのアイコンをクリックする方法もあります。

このユーザーガイドでは、Board という用語は、オンプレミスのサービスに登録された Cisco Board または Board Pro を指しています。

Cisco Board は、スタンドアロンデバイスとして使用することも、Touch 10 または Room Navigator で制御することもできます。このガイドは、Board をスタンドアロンデバイスとして使用する場合について説明しています。

Board でタッチコントローラを使用している場合は、『Cisco Room Series ユーザーガイド』の「タッチコントローラの機能」を参照してください。

注: このユーザーガイドで説明されている機能の一部は、特定の市場ではオプションである場合があります。お使いのデバイスに適用されない場合があります。



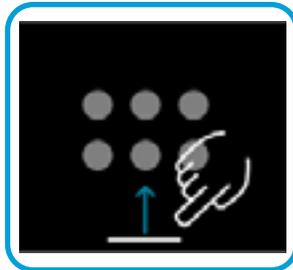
はじめに

概要

RoomOS 11: 基本的なナビゲーション

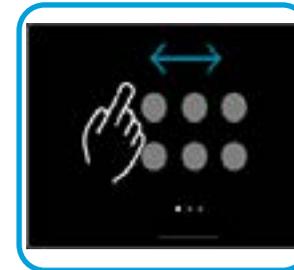
デバイス名をタップすると、そのデバイスの連絡先情報が表示されます。

ホーム画面と開いているアプリにアクセスするには、下の柄で上にスワイプします。これにより、タスクスイッチ機能が開きます。



このボタンをタップするか画面の右側からスワイプして、コントロールパネルを開きます。

ボタンの下の点は、オフスクリーンにさらにボタンがあることを意味します。スワイプしてそれらを表示できます。



タスクスイッチ機能は、通話中かどうかに関わらず、開いているアプリを表示します。ラップトップが接続されている場合は、その画面がタスクスイッチ機能に表示されます。

セッションで作成したホワイトボードは、タスクスイッチ機能で個別のアプリとして開きます。

[ファイル(Files)] ボタンをタップすると、デバイス上に作成したすべてのホワイトボードと、デバイスで使用可能な他のファイルが表示されます。



一部のアプリは、ダイアログとして開きます。ダイアログの上端をタッチしたまま移動します。ダイアログの外側をタップして閉じます。

全画面アプリを閉じるには、画面下部から上にスワイプします。次に、閉じたいアプリのプレビュー画像を上へスワイプします。

RoomOS 11 の概要

Cisco Board シリーズと Board Pro は、新しい RoomOS 11 オペレーティングシステムをサポートしています。

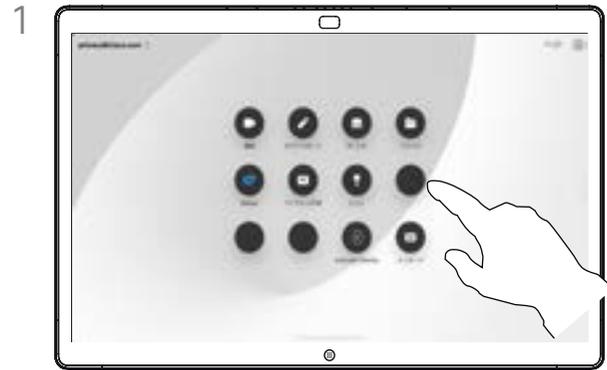
最も使い慣れた機能は RoomOS 11 でも以前と同じように動作しますが、一部の機能は変更されているか、または異なる場所でアクセスします。新しい機能も利用できます。

このガイドでは、Board シリーズと Board Pro の RoomOS 11 ユーザーインターフェイスで確認できる新機能の一部と既存の機能の変更について説明します。

RoomOS 11 のユーザーエクスペリエンスの詳細については、<https://help.webex.com/n01kjh1/> を参照してください。

概要

自分の資格情報を使用してサインインする

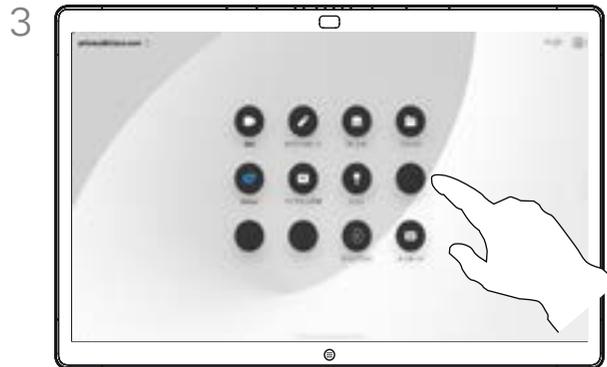


Extension Mobilityボタンをタップします。

ボタンが表示できない場合は、ホーム画面のボタンを左にスワイプします。



ユーザー名と PIN コードを入力し、[ログイン] をタップします。サインインが成功したことが表示されます。



ログアウトするには、[サインアウト] をタップします。ボタンが表示できない場合は、ホーム画面のボタンを左にスワイプします。

Extension Mobility について

会議室やクワイエットルームに配置され、CUCM (Cisco Unified Communications Manager) の元で稼働している Boards では、自分の個人資格情報を使用してデバイスにログインすることができます。

次に、CUCM は自分宛のすべての着信コールを特定のビデオデバイスにルーティングします。

エクステンションモビリティからログアウトすると、[発着信履歴] リストはデバイスからクリアされます。



ビデオコール

RoomOS 11: コールの制御

通話中に画面をタップして通話制御を表示します。

[ミュート/ミュート解除 (Mute/Unmute)],[ボリューム (Volume)],[ビデオの開始/停止 (Start/Stop video)],および [ミーティングを終了 (Leave meeting)]などの標準ボタンに加えて、通話中に必要なその他のコントロールはすべて画面下部の同じ場所にあります。



- レイアウトメニュー。ミーティングのスタイルに合ったレイアウトを選択します。
- セルフビュー。手動カメラ制御とオプションを開いて、セルフビューを変更および移動します。
- 共有。共有オプションを開きます。
- 参加者リスト。現在の通話で参加者のリストを開きます。参加者をタップすると、使用可能なオプション ([お気に入り (Favorite)] など) のオプションが表示されます。主催者/共同主催者は、[通話から削除 (Remove from call)], [承認 (Admit)], およびミュートオプションなどの追加のオプションがあります。
- 詳細。[詳細] をタップすると、ミーティングのロック、マイク設定 (コントロールパネルでも使用可能)、参加者の追加、キーボードを開くなどのその他のオプションを表示できます。

通話中にラップトップ画面を表示する

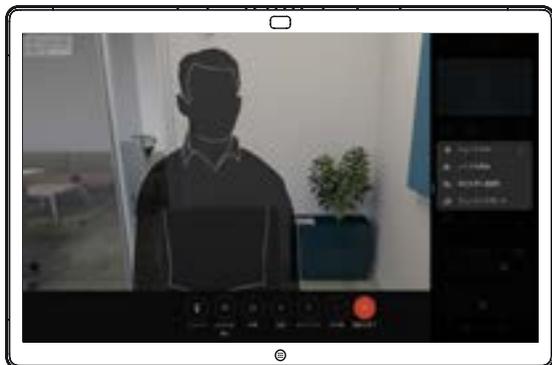
デスクデバイスをラップトップ画面の拡張として使用するには、ラップトップを HDMI または USB-C ケーブルで接続します。タスクスイッチ機能にラップトップ画面が表示されます。

通話中にラップトップ画面を表示するには、タスクスイッチ機能で選択します。フィルムストリップに通話とプレゼンテーションが表示されます。ラップトップのプレビューを小さくしてコールを大きくするには、ラップトップのプレビューの上にある柄から下にドラッグします。フィルムストリップをタップしてドラッグすると小さな浮動ウィンドウに変わります。これは画面上の指定された領域にドラッグアンドドロップできます。

ビデオ通話

音声設定

通話中かどうかを問わず、マイクのオプションから次の音声設定が使用できます。これらの設定のいずれかをオンにするには、デバイスのコントロールパネルを開き、[マイク] をタップします。オンにするオプションをタップします。いずれも必要ない場合は、[中立] をタップします。



ノイズ除去

ノイズ除去を使用して、通話中に煩雑なノイズを排除することができます。特に、共有スペースまたはホームオフィスでは、ノイズ除去が便利です。

音声の最適化

通話中に背景雑音を除去し、自分の声だけを拾い上げ、近くで話している他の人の音声を抑えます。

マイクのテスト

音声を録音および再生することで、デバイスが正しく音声をピックアップしていることを確認し、ノイズ除去設定の有効性をテストします。

音楽モード

ミュージックモードを使用すると、通話中に、音楽のダイナミックレンジを流すことができます。これにより、音楽のニュアンスを聞くのが重要な設定で、より良いエクスペリエンスが作成されます。

音楽モードは、リモートミュージックのレッスンや楽器のテスト、およびすべての範囲の音楽を聞くことが重要な場合に便利です。デバイスは依然として、エコーキャンセレーションと環境背景雑音のリダクション機能を使用して、パフォーマンスを損なうことなく外部装置を使用する必要を回避しています。

ミュージックモードを使用していない場合は、デバイスによって雑音がフィルタリングされ、音声のレベルの違いが減少します。これにより、ミーティングの設定に対応し、気を散らすノイズを減らすことができます。デバイスを使用して録音された音楽を再生する場合にも、追加のフィルタリングが適切に機能します。

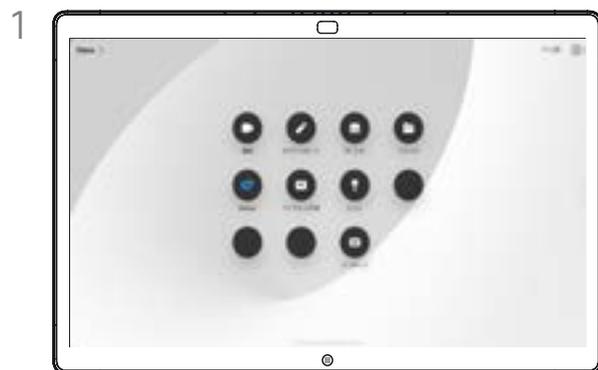
音楽モードを使用するには、まずデバイスで音楽モードを有効にします。コントロールパネルを開き、[デバイス設定] をタップします。スクロールし、[音楽モード] を選択します。オンまたはオフに切り換えます。

メモ: 音楽モードとノイズ除去は同時に使用できません。

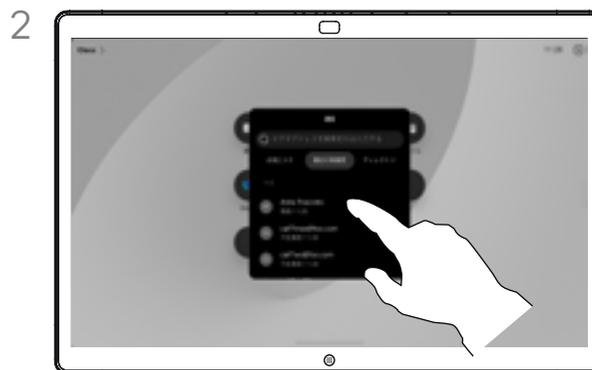
着信音と音量

着信音を変更し、着信音の音量を調整するには、Board のコントロールパネルを開いて、[デバイスの設定] をタップします。[着信音と音量] にスクロールします。リストから着信音を選択し、スライダーを使用して音のレベルを設定します。

連絡先リストから発信する



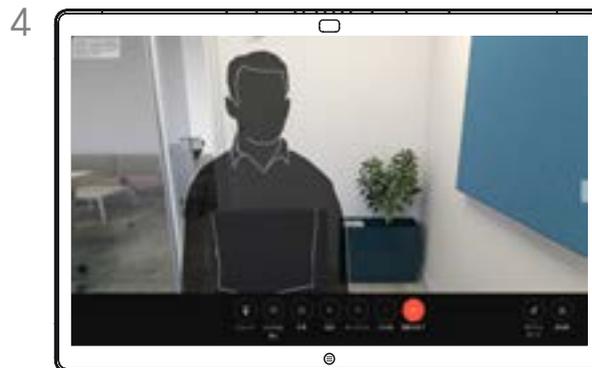
[通話 (Call)] ボタンをタップします。



[お気に入り],[最近の履歴],または[電話帳] をタップして下にスクロールし、コールするエントリを探します。



そのエントリをタップしてから、緑色の [通話] ボタンをタップします。



通話が発信されます。通話を終了するには、赤色の [通話を終了する] ボタンをタップします。

連絡先リストについて

連絡先リストは、次の 3 つの部分から構成されています。

お気に入り。これらの連絡先はユーザーによって配置されています。頻繁に通話するエントリや、迅速にアクセスする必要があるエントリを登録します。

ディレクトリは通常、ビデオサポートチームによってデバイスにインストールされた社内ディレクトリです。

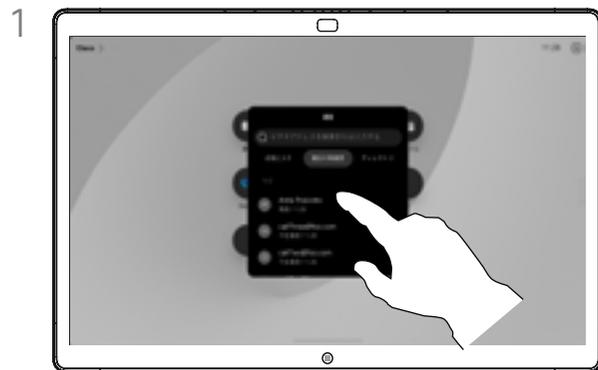
発着信履歴は、発信、受信、不在着信のリストです。

次のオプションが適用されます。

- 名前、番号、または URL を入力すると、デバイスはすべてのリストで検索します。
- お気に入りリストにエントリを追加することができます。発信する前にエントリの内容を編集したり、コールレートを変更したり、発着信履歴からエントリを削除することができます。

ビデオ通話

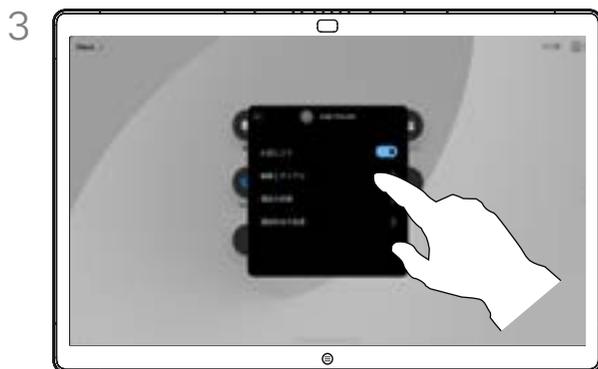
発信する前に連絡先を編集する



通話ボタンをタップします。編集するエントリ見つけ、そのエントリをタップします。



連絡先カードの [詳細] (...) ボタンをタップします。



[編集とダイヤル] をタップします。



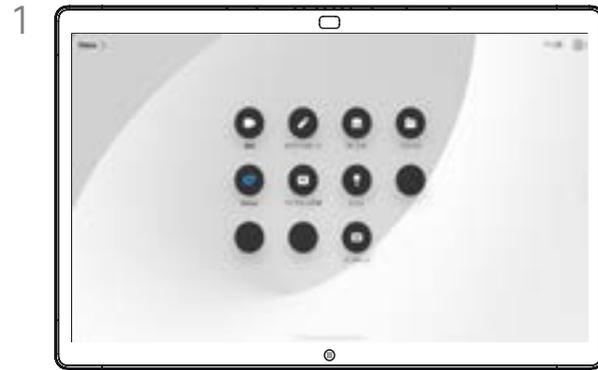
キーボードを使って編集し、緑色の [通話] ボタンをタップして発信します。

エントリ編集について

発信する前に、連絡先リストにあるエントリを編集する必要がある場合があります。また、プレフィックスやサフィックスを追加したり、それ以外では適切なエントリに変更する場合があります。

ビデオ通話

名前、番号、またはアドレスを使用して発信する



[通話 (Call)] ボタンをタップします。



[検索] フィールドをタップします。これにより、キーボードが開きます。



名前、番号、またはアドレスを入力します。入力したとおり、一致するものや候補が表示されます。正確に一致するものがリストに表示されたら、それをタップします。表示されない場合は入力を続けます。



連絡先を見つけて選択したら、緑色の [通話] ボタンをタップして通話します。

発信について

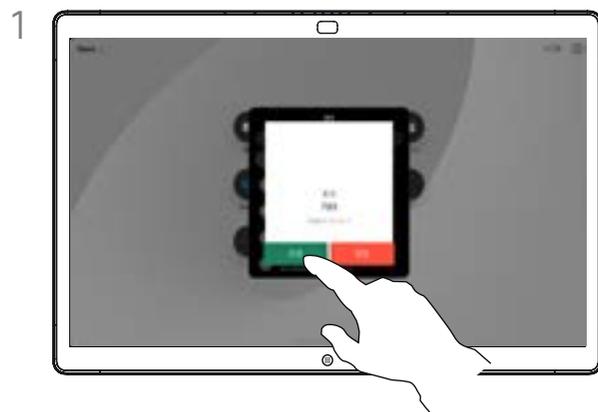
連絡先にリストされていない相手に電話するには、画面に表示される仮想キーボードを使用して名前、アドレス、または番号を入力します。

以前にコールしてきた人や、コールした人は、[最近の履歴] リストに表示され、任意のコールを [お気に入り] リストに追加できます。これについては、「連絡先」で説明しています。

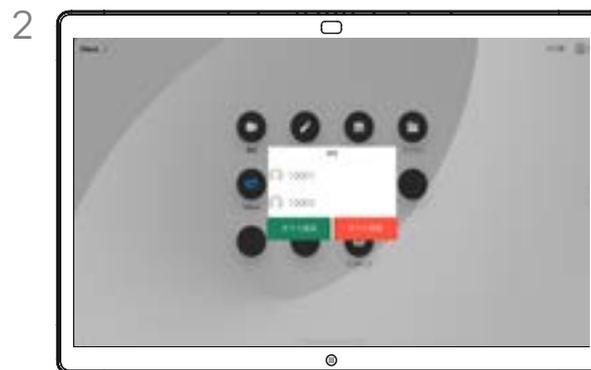
場合によっては、内線にアクセス、または暗証番号を提供するために、コール中に番号を入力する必要がある場合があります。この場合は、通話コントロール内の [キーパッド] ボタンをタップして、キーボードを開きます。

最近の履歴をクリアできるのは、Web インターフェイスからのみであることに注意してください。

ビデオ通話 着信コール



着信通話に応答するか拒否するかに応じてタップします。



ビデオ インフラストラクチャで許可されている場合は、複数の着信を受信できます。既存の通話に追加するか、あるいは拒否するかを選択できます。

着信があった場合

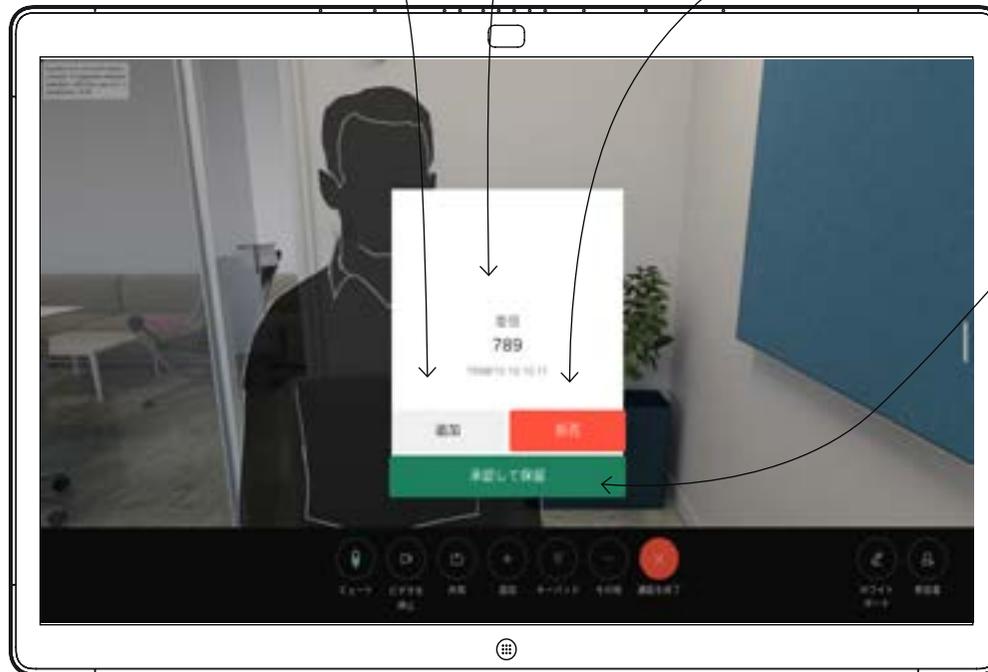
- ユーザからコールがあれば、そのコールを受け入れる、拒否する、あるいは無視するかのいずれかになります。
- 通話を拒否すると、通話中の情報が発信者に送信されます。
- コールを無視すると、発信者はこのことを、不在として認識します (コールに応答しなかった場合)。
- ビデオインフラストラクチャを使用すると、複数の着信を受信できます。貴社のビデオサポートチームにご照会ください。

別のコール中にコールを受信する

追加: デバイスが CUCM 下でアド
ホック電話会議を実行している場合
は、参加者を追加することができます。

新しい着信
の ID。

着信通話を拒否
し、続けている通
話を続行します。

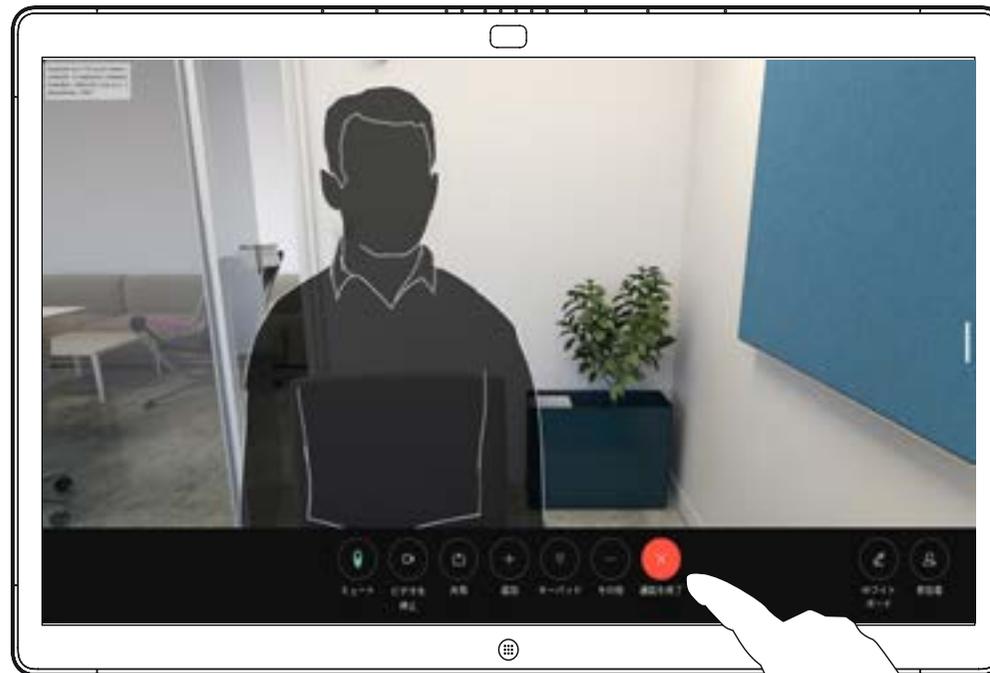


承認して保留: 発信に応
答し、現在の通話を保留に
します。

オプションについて

すでに通話中の場合は、特定の状況
下で別の着信通話を受け入れること
ができます。

通話から自身を切断する



通話から自分を切断するには、[通話を終了する] をタップします。

切断について

通話中に [通話を終了する] をタップすると、通話から切断されます。2 者だけがコールした場合は、このコールは終了します。

複数の参加者がいる会議電話では、[通話の終了 (End call)] をタップすると、ユーザーが通常の参加者である場合にのみ、参加が終了します。

ただし、自分がこの電話会議のホストである場合、[通話の終了 (End call)] をタップすると、電話会議の種類によっては電話会議全体が終了することがあります。

ビデオ通話

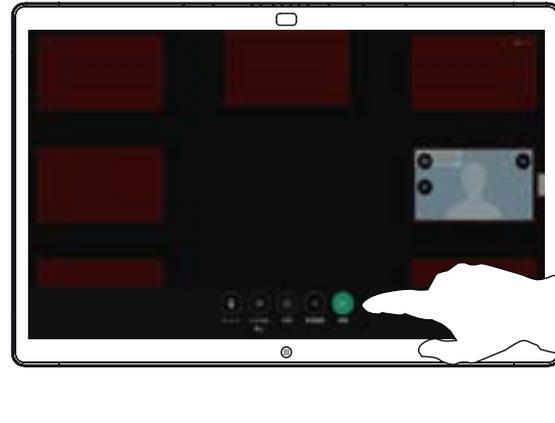
コールを保留にし、保留中のコールを再開する

1



通話中に 保留をタップします。最初に [詳細] をタップする必要がある場合もあります。

2

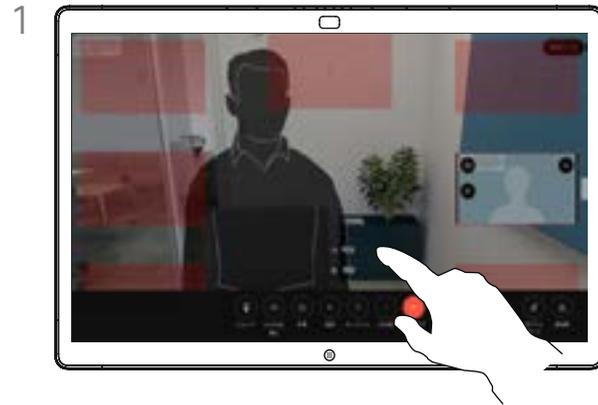


[再開]をタップして、通話状態にあった相手に戻ります (元の操作に戻ります)。

保留について

通話の保留は通常、通話を別の人に転送する際に行われる最初のステップです。ビデオの送信を停止する場合も、ミュートの代わりに保留を使用することができます。

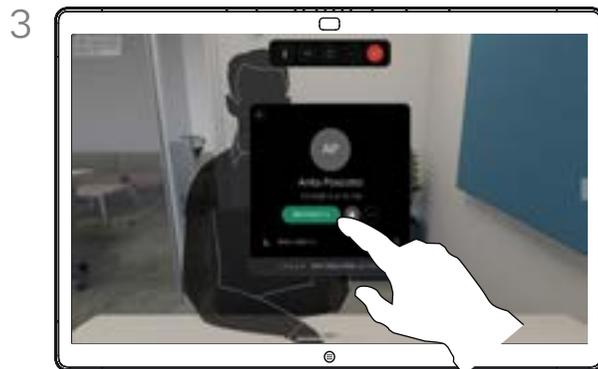
継続中のコールを転送する



[詳細] をタップし、[転送] をタップします。これにより、現在の通話が保留になります。



連絡先を検索します。



緑色の [通話を転送する] ボタンをタップします。相手と話して転送が行われたことを確認します。転送先では保留中のままになります。

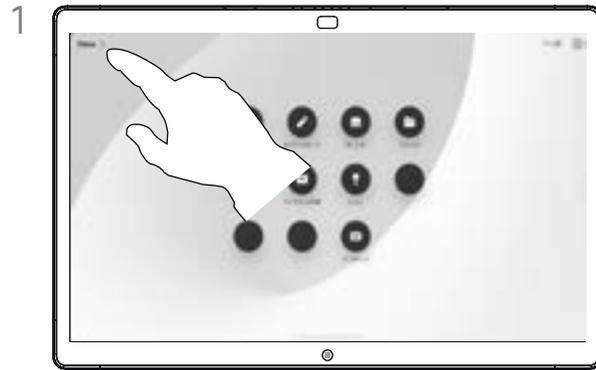


[転送を完了] をタップします。

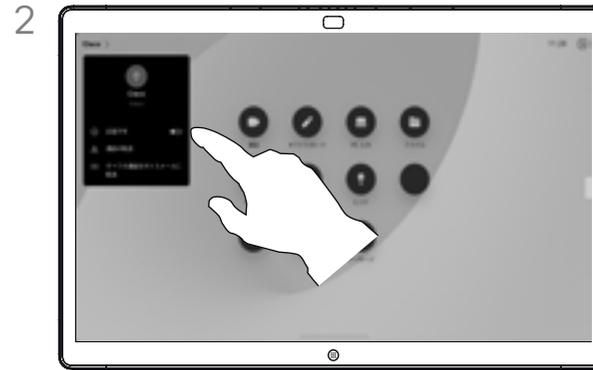
転送について

継続中のコールを別の人に転送することができます。転送する際に必ず発信先の人と話して、転送してもよいかどうかを確認することができます。

着信拒否を有効にする



ホーム画面の左上隅のデバイス名をタップします。



サイレント (DND) に切り替えます。この設定を無効にするには、もう一度タップします。

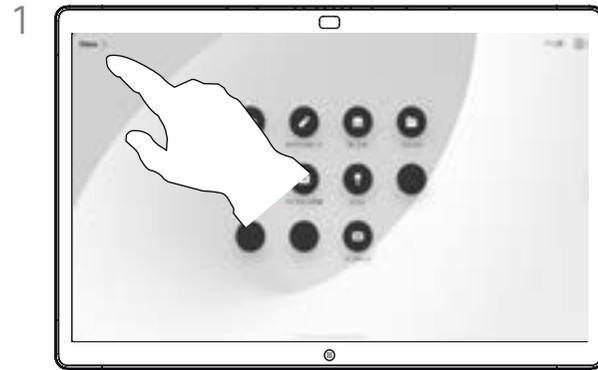
応答不可について

着信コールに応答しないようにデバイスを設定することができます。他の人にも発信することができます。

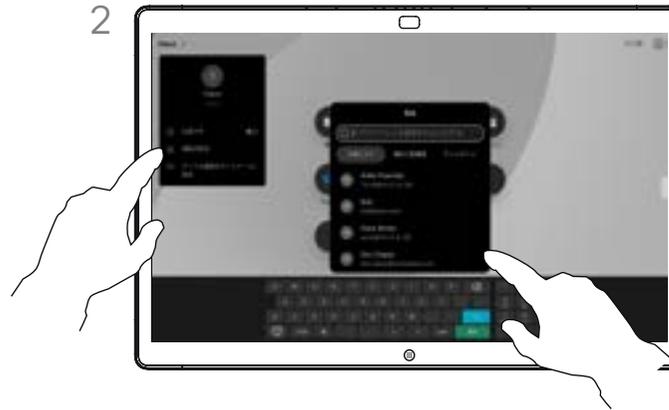
ビデオサポートチームがこの機能のタイムアウトを設定していて、その後デバイスが着信通話に応答して通常どおり応答するようになっている可能性があります。デフォルトのタイムアウト設定は 60 分です。

ビデオ サポート チームによって、この機能へのアクセスが無効になっている場合があることにご注意ください。

すべてのコールの自動転送



ホーム画面の左上隅のデバイス名をタップします。



[不在転送] エントリを選択します。連絡先を検索して選択します。次に、緑色の **[転送]** ボタンをタップします。コールの転送を停止するには、同じメニューを開き、**[転送の停止]** エントリを選択します。

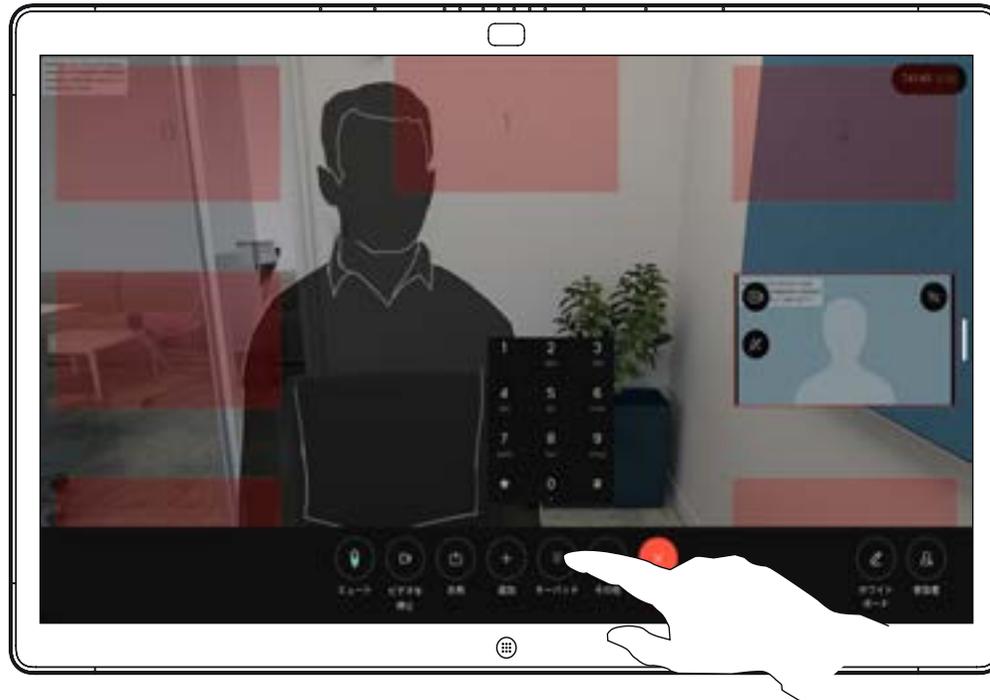
通話の転送について

デバイスで有効にした場合、ボイスメールまたは別の受信者のいずれかを選択して、すべての通話を転送できます。

管理者は、表示されている一連のメニューとオプションへのアクセスを無効にできます。

ビデオ通話

通話中にキーパッドを開く



通話中に画面をタップして通話制御を開きます。次に、[キーパッド] ボタンをタップします。

通話中にキーパッドを使用する

通話中に、内線にアクセスできるようにするか、または何か(たとえば、PINコードを入力)に入れるようにするのに、番号を送信するように求められることがあります。

番号を入力するには、タッチ画面のキーパッドを開きます。

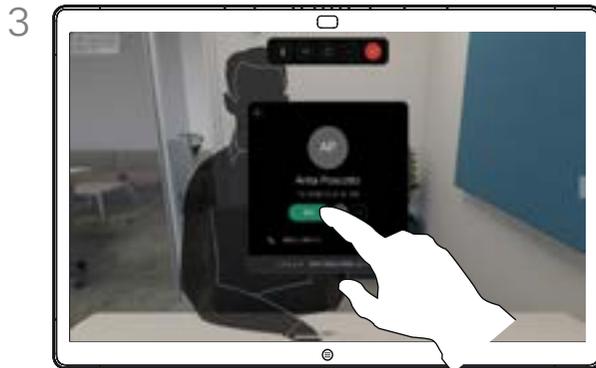
継続中の通話に参加者を追加する



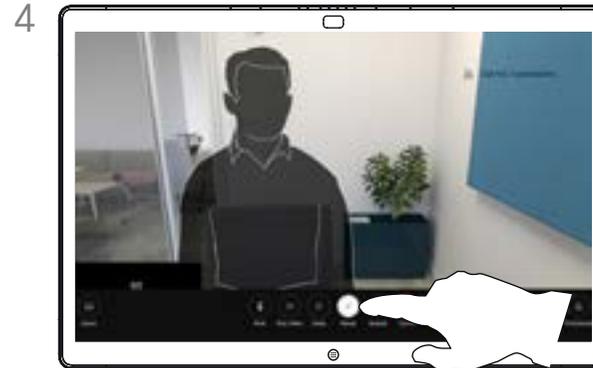
通話中に画面をタップして通話制御にアクセスし、[追加]をタップします。



次に呼び出す相手を探します。



連絡先の [追加] をタップします。



コール制御で [マージ] をタップして、新しい通話を既存の通話に追加します。電話会議が確立しました。

ビデオインフラストラクチャの許容する範囲で、この手順を繰り返すことができます。

ビデオ会議について

ネットワークには、複数の参加者とビデオ会議を開始する機能が装備されている場合があります。

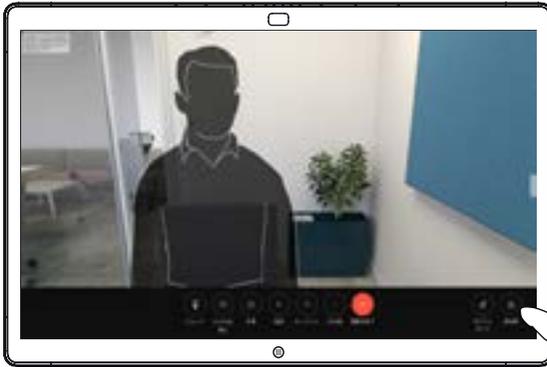
デバイスでサポートされる参加者の最大数は、設定とビデオのインフラストラクチャによって異なります。これを確認するには、ビデオ サポート チームへ問い合わせてください。

ビデオ会議を開始するには、参加者に一人ずつコールします。

ビデオ通話

電話会議から参加者を切断する

1



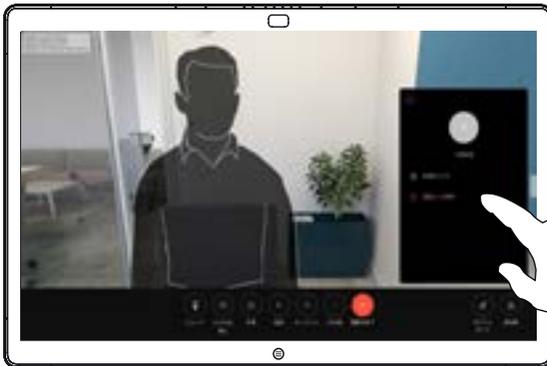
通話中に画面をタップして通話制御を取得します。次に、[参加者] ボタンをタップします。

2



ミーティングからドロップする参加者をタップします。

3



[コールから削除] をタップします。

ビデオ会議について

ビデオデバイスからビデオ会議を行う機能はオプション機能であり、お使いのデバイスで利用できる場合とできない場合があります。

会議から参加者を切断できるのは会議のホストのみです。

ビデオ通話

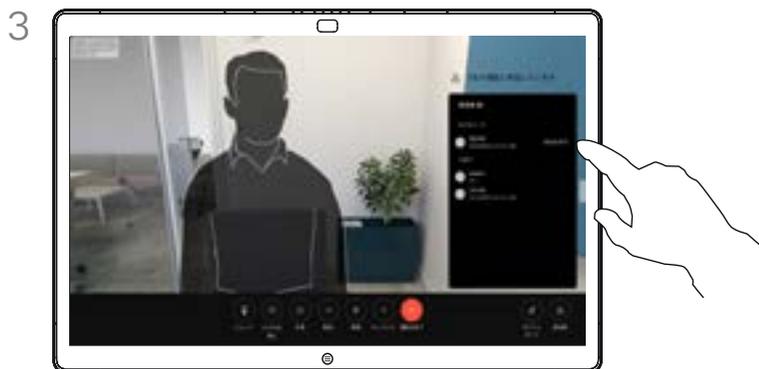
参加者をミーティングに許可する



ロビーで待機している人がいる場合、通話中に通知されます。



画面をタップして通話制御を取得します。次に、[参加者] ボタンをタップします。



[許可] をタップして待機中の参加者をミーティングに参加させます。

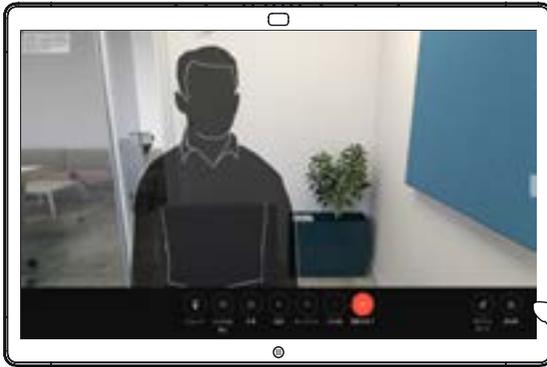
参加者の許可について

ロックされている CMS ミーティングでは、参加者を参加者一覧からミーティングに参加させることができます。

ビデオ通話

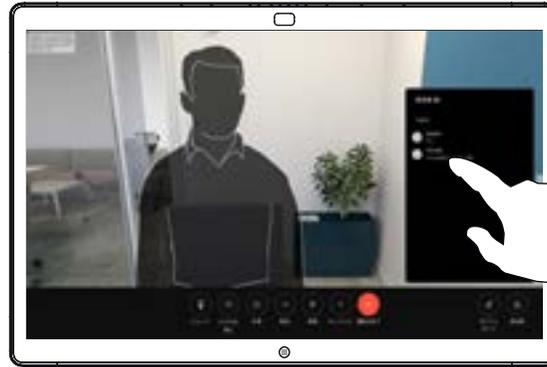
ミーティングでスピーカーを固定する

1



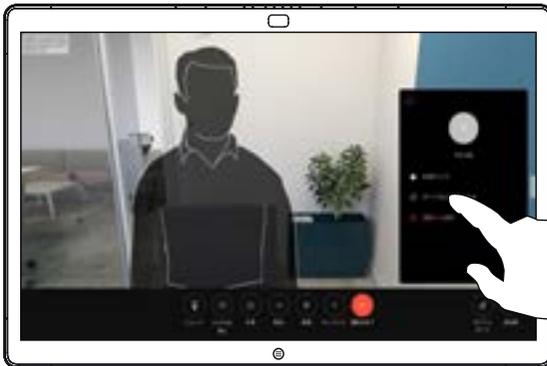
通話中に画面をタップして通話制御を取得します。次に、[参加者] ボタンを タップします。

2



固定する参加者をタップします。

3



[すべてをピン留めする] をタップします。

スピーカーの固定について

CMS ミーティングでは、ミーティングの参加者全員にとって重要であるとしてミーティングの参加者を固定することができます。このようにすると、参加者または会議室にアクティブなスピーカーでなくても、全画面に表示されます。

スピーカーを固定すると、そのスピーカーが固定されていることを示す通知が画面に表示されます。同様に、固定を解除すると、それらの固定が解除されたというメッセージが表示されます。

音声のみの参加者を固定する場合、この設定はレイアウトには反映されません。

デフォルトでは、ホストのみがすべてを固定できますが、ミーティングの開催者は会議の設定でこれを変更することができます。

スピーカーは、CMS ミーティングでのみミーティング全体に対して固定できます。

ミーティングで挙手する

1



ミーティング中に、画面をタップして通話制御を開きます。その後、[挙手] ボタンを タップします。

2



手を下げる場合は [手を下げる] ボタンをタップします。この場合、名前の横にある参加者リストからアイコンも削除されます。

挙手について

会話を中断せずに質問やコメントを他の人に知らせるには、[挙手] ボタンを使用します。

ミーティングのホストと他のユーザの両方に、誰かが挙手したという通知が画面に表示されます。フルネームを含む通知が最初の挙手について表示されます。

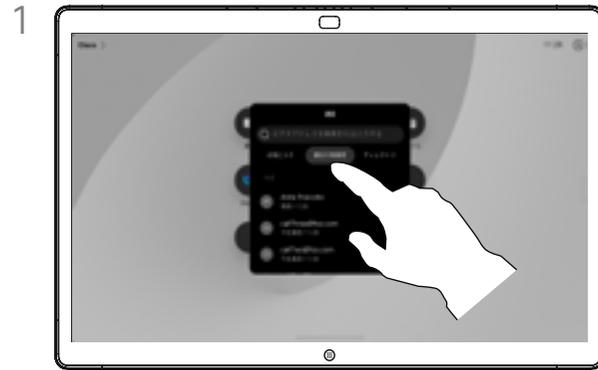
その後、挙手アイコンに、手を挙げ上げた回数が表示されます。

参加者リストを開き、どの参加者が手を上げたのか確認します。手を上げた参加者は順番にリストの一番上に表示されるので、誰が最初に手を上げたのか簡単に確認できます。

挙手は 2 名を超えるミーティングで利用できます。

挙手は CMS ミーティングで利用できません。

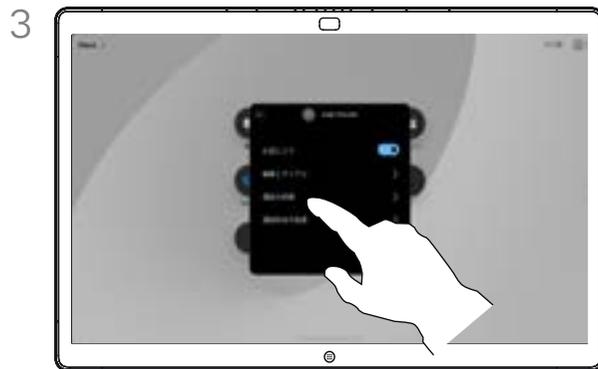
最近の通話の通話詳細を検索する



[通話] ボタンをタップし、[最近の履歴] リストのエントリを選択します。



[詳細] をタップします。



次の画面で、[通話詳細] をタップします。



リストを下方方向にスクロールして詳細を確認します。
[戻る] 矢印をタップして、詳細画面から離れます。

通話詳細について

最近の通話のトラブルシューティングを行うには、[最近の通話] リストから通話詳細を見つけることができます。



シスコ プロキシミティ設定

Cisco Proximity の超音波信号

Cisco デバイスは、近接機能の一部として超音波を発しています。業務用または商用アプリケーション、家電製品など、ほとんどの人は毎日さまざまな環境で、程度の差はあれ超音波にさらされています。

人によっては空中の超音波によって何らかの影響を自覚する場合がありますが、75 dB 未満の音圧レベルで影響が生じることはほとんどありません。超音波の制限に関するガイドラインは国によって大きく異なります。Cisco 近接通信信号が出力される 20 kHz あたりの周波数帯で検出される 75 dB の音圧レベルは、現在の制限における最小値となっています。

この情報の参考資料として、カナダ保健省のガイドライン http://www.hc-sc.gc.ca/ewh-semt/pubs/radiation/safety-code_24-securite/index-eng.php#a2.2.2 (英語) をご覧ください。

120 dB 未満の音圧レベルでは永続的または一時的な難聴はどちらも発生していないと、このガイドラインでは述べられています。

個人使用の Cisco デバイスの場合、超音波の音圧レベルは 70 dB 未満で 20 cm 以上の距離にあります。スピーカーから 20 cm 以上です。

ほとんどの現実的なケースでは、ユーザの耳の位置でのレベルは、スピーカーの指向性、距離減衰、一般的な会議室での高い高周波数吸収率によって、これらの最大レベルよりはるかに低くなります。このレベルは、可聴音についてミーティングスペースの一般的なバックグラウンド/環境ノイズレベルから通常のスピーチのいわゆる会話レベルまでさまざまです。

したがって、人間が近接通信の信号に連続的にさらされても安全であると考えられます。ほとんどの人は、信号の存在に気付かず、信号の影響を受けません。ただし、特に急性の高周波聴力を持つ一部の個人は、この信号が聞こえます。この状況はほとんどの場合、スピーカーの正面かつ近傍で起こります。

犬などの動物は、可聴周波数範囲が広いいため、近接通信の信号が聞こえます。

ただし、音の影響はレベルに依存し、犬の可聴レベルの範囲は人と大きくは異なりません。20 kHz での犬の可聴しきい値は 0-10 dB と低く、最も感度の高い周波数範囲での人の耳のしきい値と変わります。

せん。

シスコは、信号が犬に影響を及ぼす可能性についてテストや検証を行っていません。レベルが制限されているため、犬に信号が聞こえることが明らかであるとしても、犬にとってわずらわしいものではないと信じられています。

オフィスまたは会議室にいる犬は、通常のバックグラウンドノイズと同等のレベルまたはほとんどの会話レベルの超音波を受けることになります。当社の製品にこの機能を搭載したここ数年間で、信号によって動物が影響を受けたというレポートはありません。

ただし、超音波を使用する犬撃退デバイスが存在していることから、超音波が犬に及ぼす影響について疑問を持つことは当然のことです。これらのデバイスは通常、不快ではあるが無害な超音波を使用していると主張しています。Cisco は、犬撃退デバイスの設計について見識はありませんが、このようなデバイスの仕様を調べると、そのレベルが 100 dB 以上であることが多いことがわかります。

シスコのビデオコーデックをサードパーティ製のスピーカーシステムと組み合わせて使用するソリューションについては、シスコは超音波の音圧レベルを制御できません。ほとんどの場合、必要なスピーカー感度および周波数応答によって、音圧レベルは 75 dB の制限未満になります。しかし、過剰な信号の外部増幅を行う、またはスピーカーシステムが高周波を強調するものであった場合、この制限を超えた音圧が出力される可能性があります。

Cisco Proximity について

Cisco Proximity 機能を使用すると、コンピュータから Cisco デバイス上のワイヤレスでコンテンツを共有できます。また、自分のスマートフォン、タブレット、PC、または MAC を使用して、ビデオデバイスのコールを制御することもできます。

次の条件に従ってください。

App Store または Google Play から、Cisco Intelligent Proximity アプリ (無料) をダウンロードする必要があります。

Windows または OS X を使用している場合は、<https://proximity.cisco.com/> (英語) にアクセスしてください。

ビデオサポートチームでは、使用可能な機能を全部または一部有効化しているか、まったく有効化していない可能性があります。

Proximity では、超音波を使用してユーザーを接続します (詳細は左)。コンピュータ、電話、タブレットのマイクをふさがないようにしてください。

ドアを閉め切った場合は、Proximity は会議室外では機能しません。Proximity を使用するには、ビデオエンドポイントの近くにデバイスを接続する必要があります。

プライバシー上の必要がある場合は、会議室のドアを閉め、盗聴されないようにします。



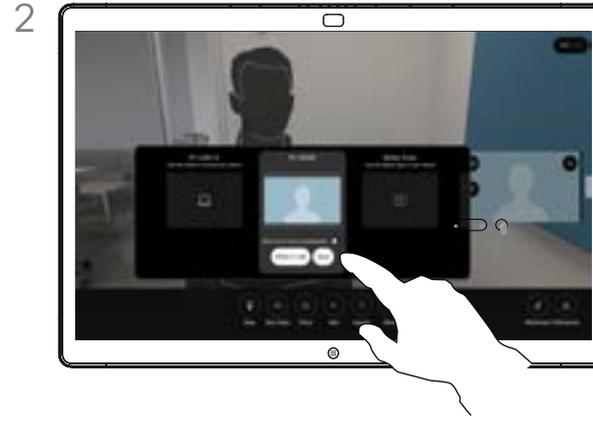
コンテンツ共有

コンテンツ共有

通話中にコンテンツを共有する



ケーブルを使用する場合は、ソースを接続し、スイッチがオンになっていることを確認します。通話中に画面をタップして通話制御を取得し、[共有] ボタンをタップします。



ソースを選択します。[表示] をタップしてプレビューします。まだ誰もコンピュータの画面を表示できません。準備ができたなら [共有] をタップします。または、[通話での共有] をタップして、すぐに共有します。



コンテンツの共有を停止するには、[共有を停止 (Stop sharing)] をタップします。

コンテンツ共有について

USB-C または HDMI ケーブルで PC とデバイスを接続して Cisco デバイスのコンテンツを共有するか、Webex アプリ、Cisco Proximity、Proximity、または Miracast® とワイヤレスで共有します。ホワイトボードをコール参加者と共有することができます。

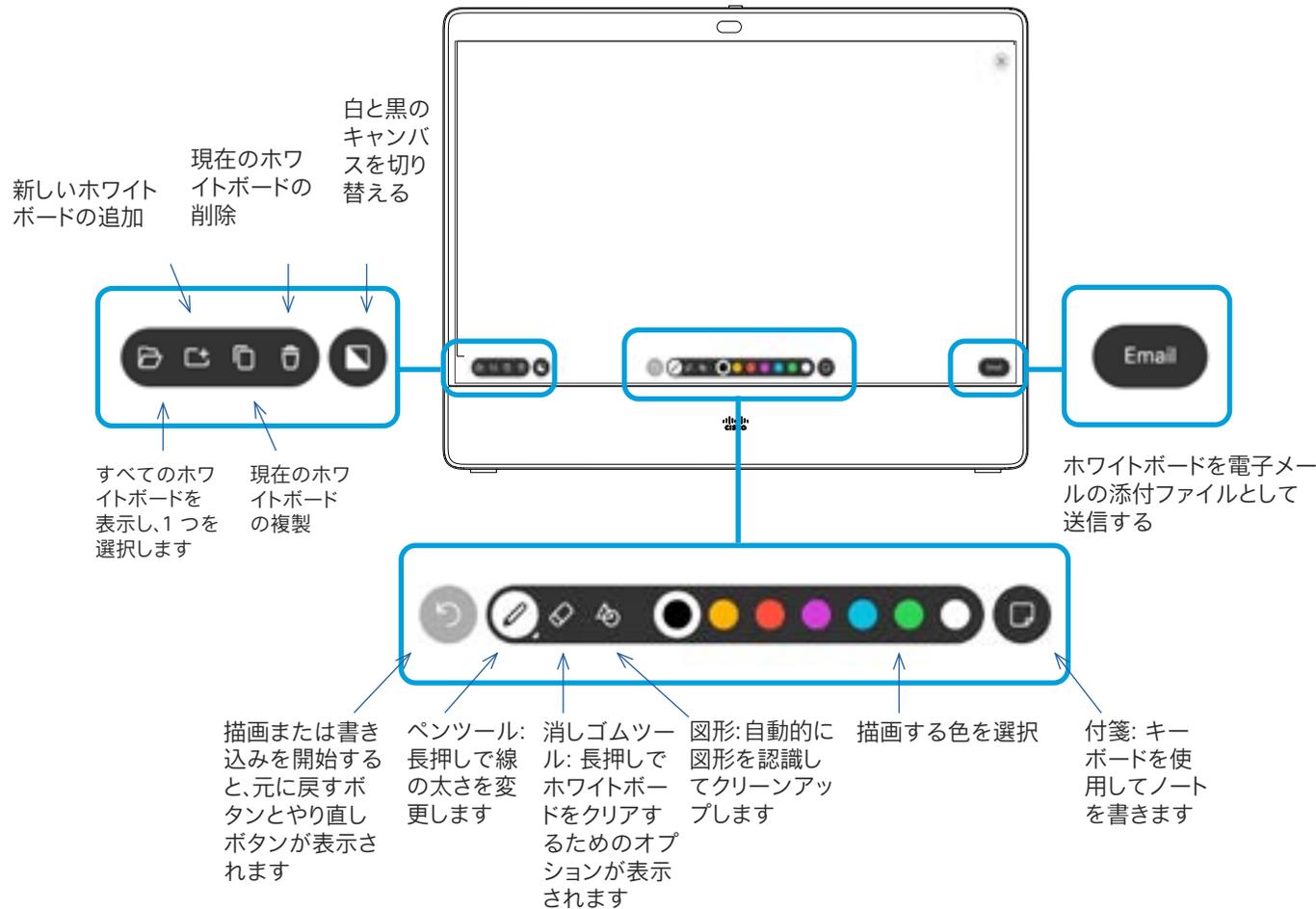
Miracast® が有効な場合、クライアントを使用せずにコンテンツをラップトップから Cisco デバイスにワイヤレスで共有できます。通話中であっても通話中でないときでもこの機能は動作します。通話を共有するには、まずコールを開始します。Miracast の詳細については、<https://help.webex.com/kfdwufb/> を参照してください。

ワイヤレス共有については、このガイドの「シスコプロキシミティ設定」(ページ26)を参照してください。

カメラがオンの場合、会議室でプレゼンを行ったのと同じ方法で、コンテンツの前に自分を表示できます。ラップトップを HDMI または USB-C ケーブルで接続します。コール制御で [共有] ボタンをタップします。[プレゼンテーションの前面に表示] をオンに切り替えて、[通話での共有] をタップします。画面上で画像を任意の場所にドラッグ&ドロップし、画像をつまんでズームしてサイズを変更します。

ケーブルを使用して通話外で共有するには、送信元を接続して、スイッチがオンに設定されている必要があります。デバイスにコンピュータ画面が表示されます。共有を停止するには、デバイス画面の下部から上にスワイプして別の画面を選択するか、ソースを切断します。

ホワイトボード機能



ホワイトボードについて

デジタルホワイトボードには Cisco Board シリーズまたは Board Pro デバイスを使用できます。

ホワイトボードを開くには、ホーム画面の [ホワイトボード] ボタンをタップします。

スタイラスまたは指を使用して書き込みと描画を行います。

ホワイトボードページのサイズは必要に応じて大きくなります。2本の指を使用してホワイトボードとピンチをドラッグすると、ズームできます。

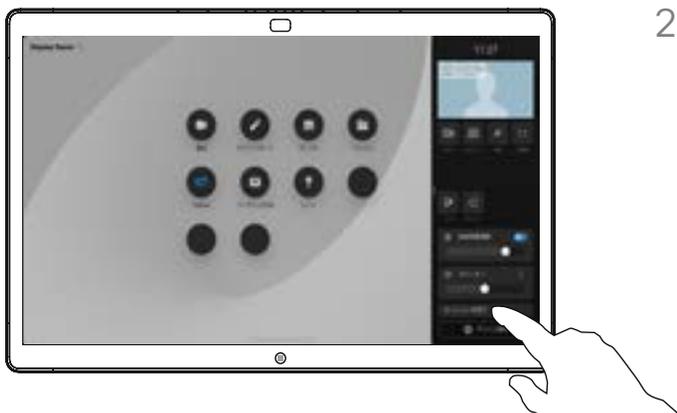
ホワイトボードの図面を保存するには、そのホワイトボードを電子メールとして送信します。これを行うデバイスが設定されている場合は、[電子メール] ボタンをタップし、受信者のアドレスを入力します。ホワイトボードはPDFフォーマットで送信されます。

画面の下部から上にスワイプすると、タスクスイッチ機能が開きます。開いているアプリケーション、現在のホワイトボード、およびホーム画面が表示され、切り替えできます。

すべてのホワイトボードを削除するには、コントロールパネルを開いて [セッションの終了] をタップします。

セッションを終了して、Board をクリアします

1



完了したら、コントロールパネルを開き、[セッションの終了] をタップします。

2



すべてのホワイトボード、すべてのウェブサイトデータ、またはその両方をクリアするかどうかを決定します。ウェブサイトデータを削除するオプションは、ウェブエンジンが有効な場合にのみ表示されます。

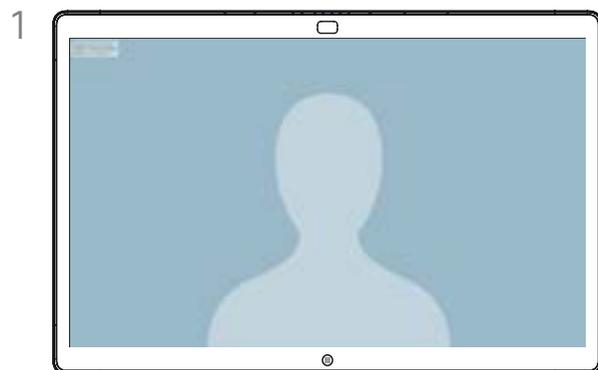
セッションの概要

セッション中は、ホワイトボード、注釈、および Web アクティビティがお使いのデバイスに保存されます。休憩を取ったり、アクティビティを切り替えることができます。その後、ファイルに戻り、作業を続行することができます。

次のユーザのためにすべてのホワイトボードとブラウジングデータをクリアして、デバイスからいつでもセッションを終了できます。

デフォルトでは、ホワイトボードと Web データは毎日午前 0 時に自動的に削除されます。自動クリーンアップが無効になっているか、または別の時間に発生するように設定されている場合は、システム管理者に問い合わせてください。

共有コンテンツに注釈を付ける



通話中ではない場合は、コンピュータの画面を Board と共有します。画面をタップして [注釈] ボタンを取得し、ボタンをタップします。



ツールを使用して注釈を作成し、完了したら [完了] をタップします。プレゼンテーションを再開することも、完全に停止することもできます。



注釈付き画像はホワイトボードとして保存されます。上にスワイプすると、現在のすべてのホワイトボードが表示されます。別のホワイトボードを追加したり、既存のホワイトボードを削除したりすることができます。ホワイトボードは、セッションが終了すると削除されます。

注釈について

ビデオコール以外でプレゼンテーションに注釈を付けることができます。

画像に注釈を付けるように選択すると、その画像のスナップショットが生成され、変更はプレゼンテーションに影響を与えません。

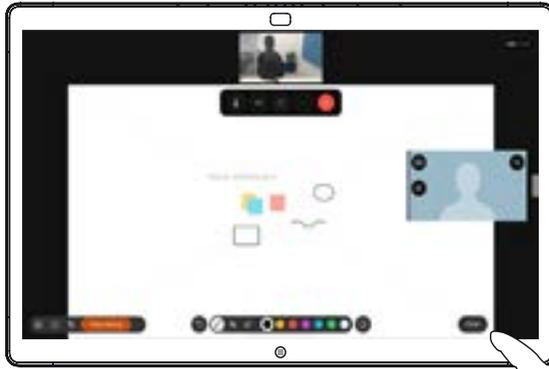
終了すると、注釈付き画像がホワイトボードとなります。プライバシーの確保のために、ホワイトボードはデバイスから削除されます。

注釈を保持するには、Board が設定されている場合は、電子メールで送信します。

注釈は PDF として送信されます。

注釈または描画をメールで送信する

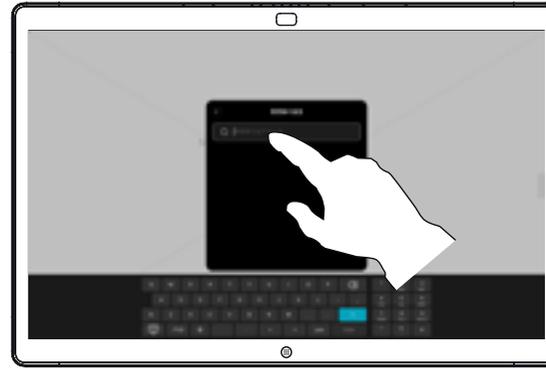
1



ホワイトボードの [電子メール] ボタンをタップします。

ホワイトボードが複数ある場合は、1 つを選択して電子メールで送信します。それから、次へ矢印をタップします。

2



タップして受信者を追加し、アドレスを入力します。次に [送信] をタップします。

注釈について

ボードが設定されている場合、1 つ以上のホワイトボードを電子メールで受信者に添付して送信できます。

ホワイトボードは PDF フォーマットで送信されます。

ホワイトボードセッションが終了した後、ホワイトボードを維持するにはこれが唯一の方法です。

有線タッチのリダイレクト

[Cisco Board] 画面からラップトップを操作できます。これは、Windows 10 ラップトップを HDMI ケーブルと USB-C ケーブルを使用して Board に接続している場合に機能します。この機能は、ドラッグアンドドロップ、描画プログラム、およびマップを含むタスクに適しています。

通話のリダイレクト機能は、ローカルで共有している場合または通話中に共有している場合に使用できます。

この機能は Windows 10 でテストおよび検証されます。基本機能は別の OS でも機能する必要があります。

制限事項:

- タッチリダイレクトを使用しているとき、共有画面上でコメントを使用できません。
- タッチリダイレクトを使用している場合、Board の音量調節は利用できません。ラップトップの音量コントロールを使用します。
- Board に Touch 10 または Room Navigator コントローラが接続されている場合は、USB-C ケーブルが Board に接続されているときにセルフビューを動かすことはできません。

ブラウザのドラッグアンドドロップを有効にする

ブラウザでドラッグアンドドロップするためにタッチリダイレクトを使用するには、ブラウザ上でこれを有効にする必要があります。

- Chrome: `chrome://flags/#touch-events`に移動し、有効に設定します。
- Firefox: 設定に移動して `Dom.w3c_touch_events_legacy_apis.enabled = true`を設定します。
- Edge: フラグに移動します。タッチイベントを有効にする = 常にオンに設定します。

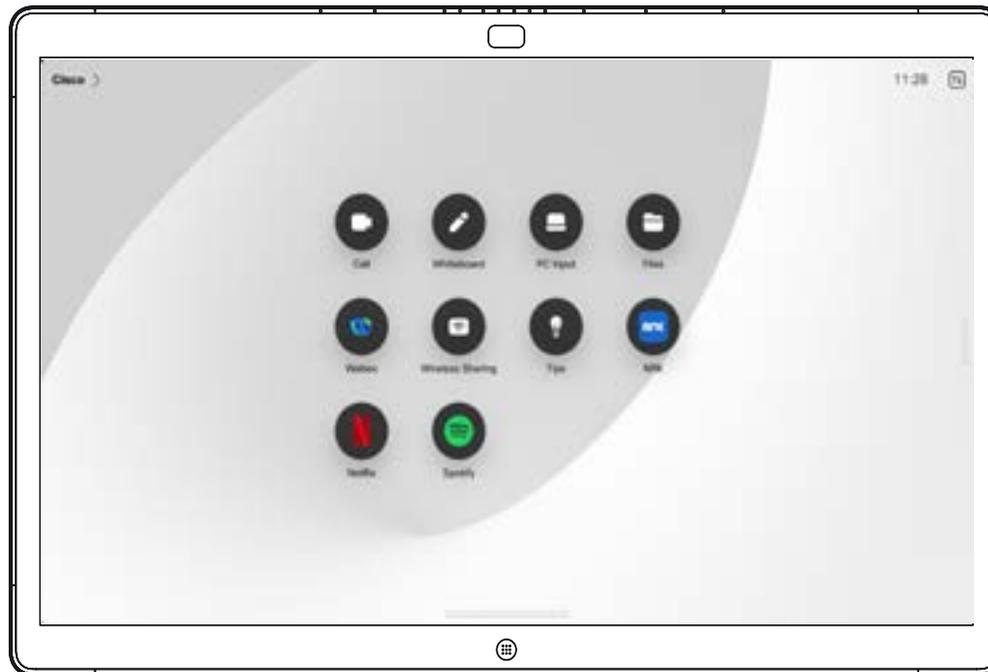
Windows 10 ラップトップでタッチリダイレクトを使用する

1. タスクバーの日付と時刻の横にあるアクションセンターを選択し、[タブレットモード (Tablet mode)] をオンにして、ラップトップをタブレットモードに切り替えます。
2. HDMI ケーブルと USB-C ケーブルを使用して、ラップトップを Board に接続します。Usb-C-USB-C ケーブルまたは USB-C-USB-A ケーブルを使用することができます。
3. メモ: USB-C-USB-A: より長いケーブルの長さに対応したケーブルがサポートされています。
4. タッチリダイレクトは、Board が自動共有用にセットアップされている場合はすぐに使用できます。使用できない場合は、ボードのユーザインターフェイスから [共有] を選択します。

タッチリダイレクトを使用している間に Board 上の他のアクティビティに切り替える場合は、画面の下部から上にスワイプして別の画面またはアプリを開きます。

メモ: この機能は、S シリーズ Board でのみ利用できます。

Web アプリ Web アプリ



Web アプリについて

Web app は、デバイスのホーム画面からアクセスできるウェブページまたはアプリケーションです。ローカルで、または通話中に web app を共有したり、web app で作業することができます。

Web app は全画面で起動し、使用されていない場合は 15 分後に時間切れになります。Web アプリはインタラクティブな場合があります。

通話中に web app を開いた場合は、web app が自動的に共有されます。通話中は web app をプレビューできません。

音声を再生するが、音量調節ができない Web アプリを提示する場合は、参加者と共有している音声を調整できません。

キャッシュ、Cookie、ローカルストレージなどのデータは、セッションが終了すると自動的にクリアされます。

Web アプリは、デバイスの設定メニューから直接追加、削除、および編集できます。

コントロールパネルを開き、[デバイスの設定] をタップします。[Web apps の管理] までスクロールしてタップします。Web app を追加し、すでに存在するアプリを編集または削除できます。

UI 内線エディタで設定されたすべての web app は、[外部管理Web Apps] の下の web apps の一覧に表示されますが、デバイスで編集や削除はできません。



スケジュールされたミーティング

スケジュールされたミーティング

スケジュールされたミーティングに参加する



ミーティングが始まると、ミーティングへの参加を促すプロンプトが表示されます。[参加]をタップします。

ミーティングへの参加

Board は、ビデオミーティングをスケジュールできる管理システムに接続されている場合があります。お使いのデバイスに、スケジュールされているミーティングが表示されます。

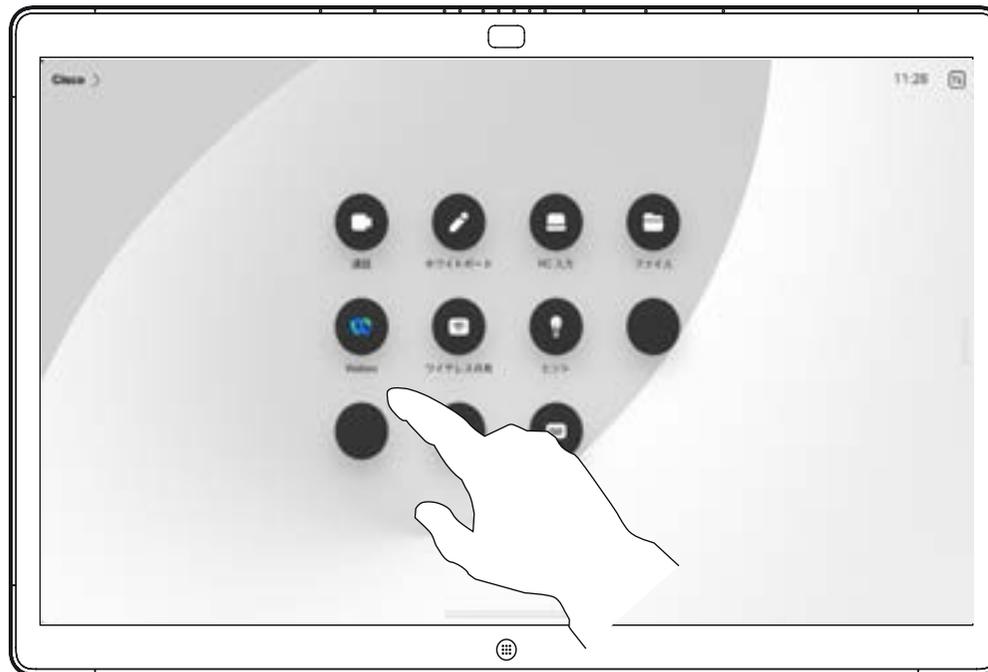
ミーティングに参加するには 参加をタップします。

ミーティングがすでに開始している場合は、参加することができます。

[デバイス] 画面にスケジュールされたミーティングが表示されると、デバイスはスタンバイからウェイクアップします。

スケジュールされたミーティング

Webex ミーティングに参加する



ミーティングへの参加

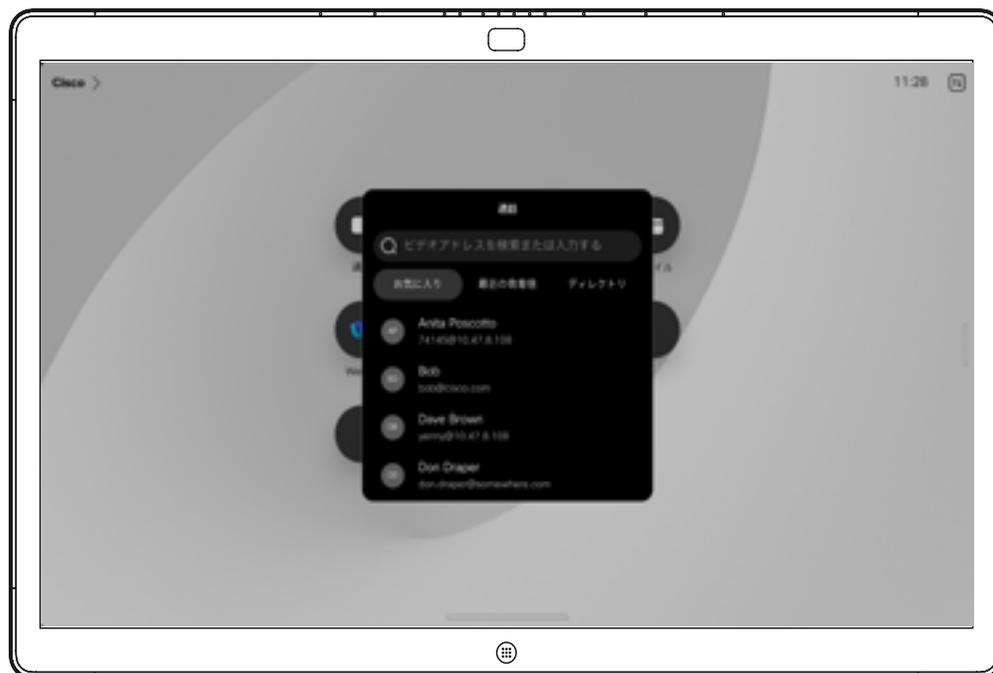
Board は、Webex に接続されている管理システムに接続されている場合があります。Webex ボタンをタップします。受信した招待にあるミーティング番号を入力するよう求められます。参加をタップしてミーティングに参加します。



連絡先

連絡先

お気に入り、発信履歴、ディレクトリ



連絡先リストについて

[通話] ボタンをタップして連絡先リストを開きます。連絡先リストは、次の3つの部分から構成されています。

お気に入り。これらの連絡先はユーザーによって配置されています。これらのエントリは、頻繁にコールするか、または迅速にアクセスする必要がある場合に使用します。

ディレクトリは通常、ビデオサポートチームによってデバイスにインストールされた企業ディレクトリです。

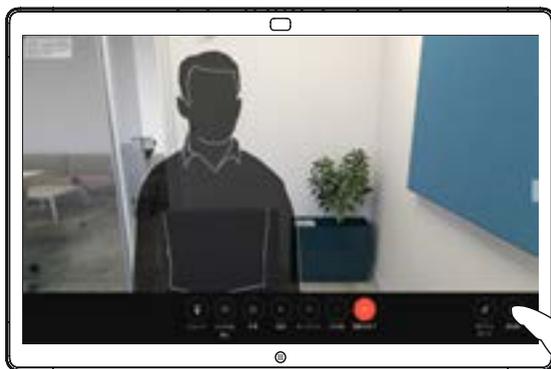
最近は、発信、受信、不在着信のリストです。

発信履歴からのエントリの削除は、Web インターフェイスでのみ行うことができます。

連絡先

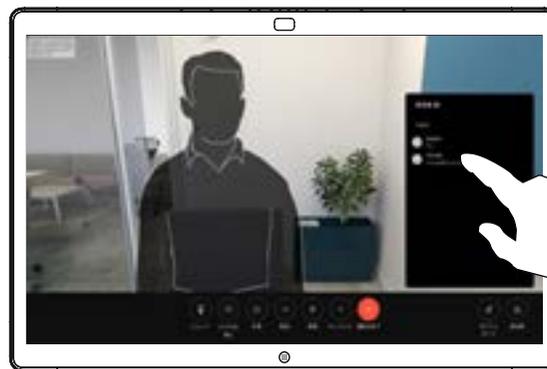
通話中にお気に入りに追加する

1



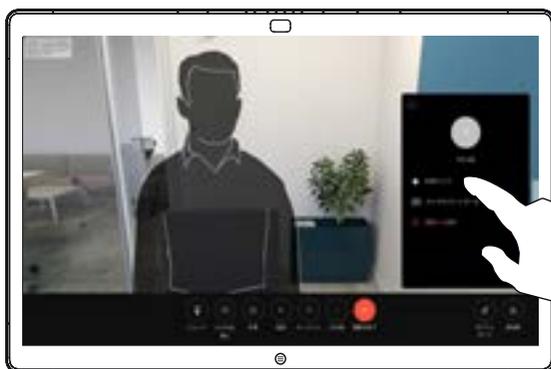
通話中に画面をタップして通話制御を取得し、[参加者] ボタンをタップします。

2



参加者をタップして [お気に入り] に追加します。

3



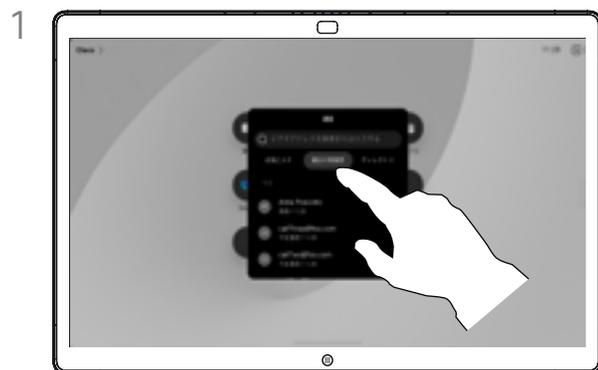
[お気に入り] をタップします。メニュー以外の場所をタップしてメニューを閉じます。

お気に入りについて

お気に入りは、頻繁に通話する、または簡単にアクセスしたい相手を含む連絡先リストです。

お気に入りは、発着信履歴またはダイレクトリストから選択するか、手動で入力します。

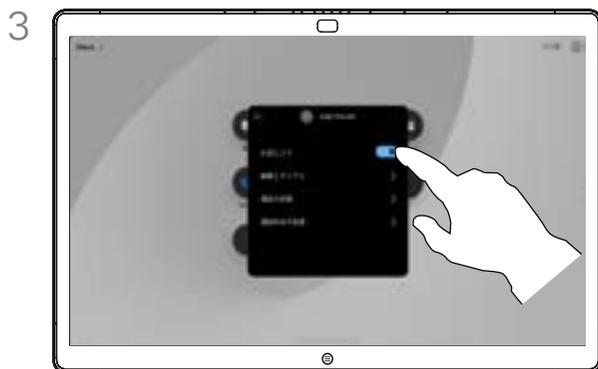
非通話時にお気に入りに追加する



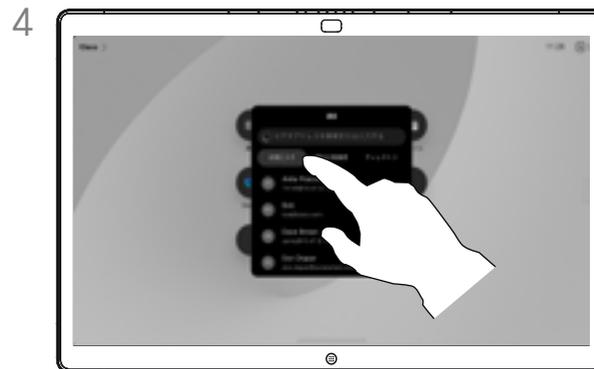
通話中ではない場合は、[発信] をタップして [連絡先] リストを開きます。[最近の履歴] または [電話帳] をタップして、[お気に入り] に追加するエンTRIESを検索します。



お気に入りリストに追加するエンTRIESをタップします。連絡先カードのスターボタンをタップすると、その人がすぐお気に入りとなります。または、[詳細] ボタンをタップします。



[お気に入り] をオンまたはオフに切り替えます。メニュー以外の場所をタップして終了します。



[お気に入り] リストからエンTRIESを削除するには、[連絡先] リストの [お気に入り] に移動して、この手順を繰り返します。

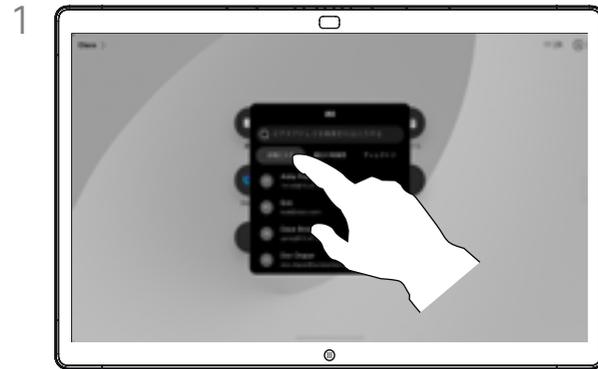
お気に入りについて

お気に入りは、頻繁に通話する、または簡単にアクセスしたい相手を含む連絡先リストです。

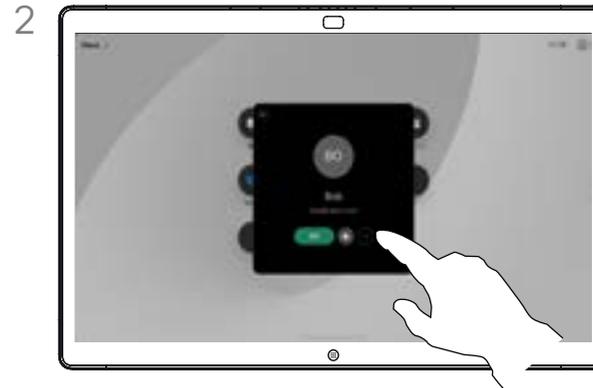
[お気に入り(Favorites)] は、[発信履歴(Recents)] または [ディレクトリ(Directory)] リストから選択するか、手動で入力できます。

連絡先

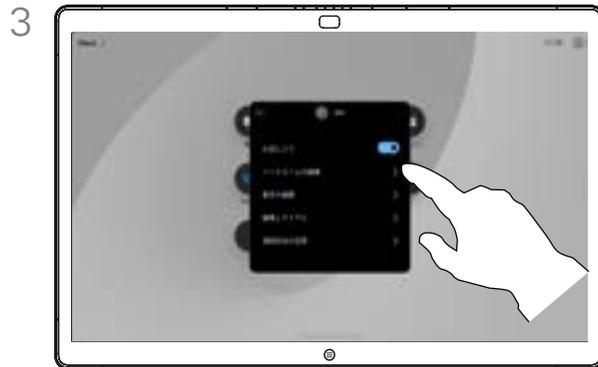
お気に入りを編集



[発信] をタップして、連絡先リストを開きます。[お気に入り] をタップします。



編集する人物をタップします。ここで、その他をタップします。



エンTRIESを編集し、キーボードで [保存] をタップして終了します。それ以外の場合は、連絡先カードの U ターン型の矢印をタップするか、カード外部の任意の場所をタップして終了します。

お気に入りについて

お気に入りはいつでも更新できます。

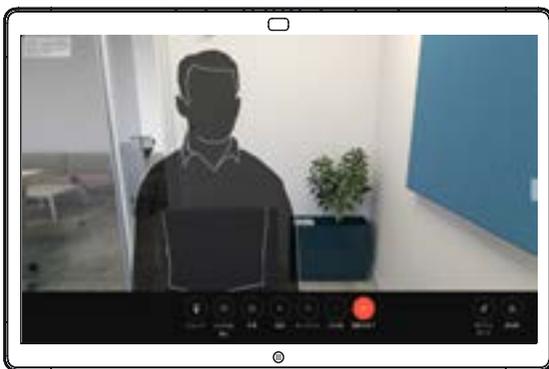


カメラ制御

カメラ制御

カメラをオンとオフを切り替える

1



通話中に画面をタップして通話制御を取得します。

2



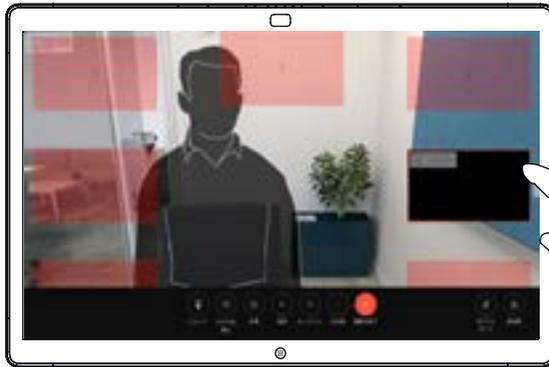
[ビデオの停止] ボタンをタップします。[ビデオの開始] タップしてビデオの発信をオンに戻します。

ビデオオフについて

カメラを機械的にブロックするオプションが存在しないデバイスで、カメラからのビデオ送信を制御します。

通話中または通話中以外のセルフビューへのアクセスと調整

1



カメラの電源が入っていることを確認してください。通話中に画面をタップすると、その通話の上にセルフビューが開きます。その後、セルフビューの右上隅のボタンをタップし、非表示、通話中に表示、または常に表示するに表示設定を変更します。

通話中、または通話を終了した状態でコントロールパネルを開き、[セルフビュー] ボタンをタップすると、同じ設定ができます。

2



非表示を選択しても、セルフビューはコントロールパネルに表示され、そこで同じオプションを利用できます。

セルフビューについて

セルフビューには、自分デバイスから他の人に見えるものが表示されます。これを使用すると、他の参加者に見せるべき適切な画面が見えていることを確認できます。

通話中と通話中以外の両方で、画面の周りにセルフビューを表示、調整、移動できます。

任意のタイミングでセルフビューを確認するには、コントロールパネルを開きます。カメラが開いている/オンの場合は、その場所にセルフビューが表示され、必要に応じて全画面に展開できます。全画面を終了するには、コントロールパネルを開き、もう一度 [全画面] をタップします。

セルフビューを非表示、通話中に表示、または常に表示に設定するには、コントロールパネルの [セルフビュー] ボタンをタップします。

カメラ制御

セルフビューを移動する



セルフビュー画像をタップして長押しします。画面の新しい位置にドラッグアンドドロップします。



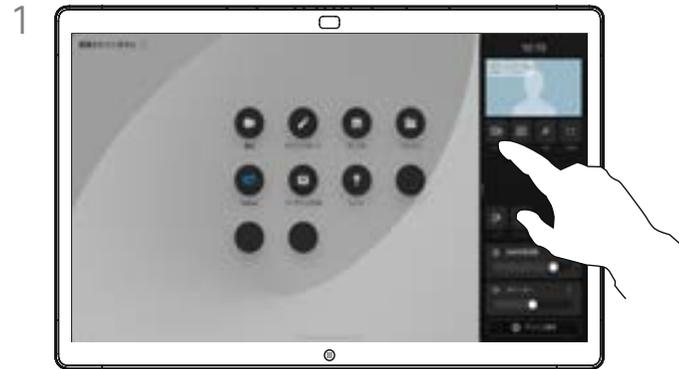
指を離すと、新しい場所に画像が表示されます。

セルフビューについて

セルフビューには、デバイスから他の人に見えるものが表示されます。これを使用すると、他の参加者に見せるべき適切な画面が見えていることを確認できます。

通話中と通話中以外の両方で、画面の周りにセルフビューを表示、調整、移動できます。

自動カメラモードの選択



通話中、または通話を終了した状態で、コントロールパネルを開いて [カメラ] ボタンをタップします。カメラモードで [自動] を選択します。



カメラモードを選択します。コントロールパネルの外をタップして終了します。

カメラモードについて

自動カメラモードを選択すると、ミーティング中に手でカメラを操作することなく、デバイスとミーティングを最適に表示できます。通話中かどうかに関係なく、カメラモードを変更できます。

使用可能な自動モードは、管理者が設定した設定によって異なります。

- **グループ。** カメラは、調整してすべての人を表示します。
- **フレーム。** カメラは、個人または小規模なグループでズームして表示されます。
- **スピーカー。** カメラは、話している人物に追従します。スピーカートラッキングが動作する最大距離は 7.5 m です。

お使いの Board に Touch 10 または Room Navigator を接続している場合は、いずれかを使用してカメラの表示を制御することもできます。

カメラ制御

カメラを手動でコントロールする



通話中、または通話を終了した状態で、コントロールパネルを開いて [カメラ] ボタンをタップします。カメラモードで [手動] を選択します。

または、セルフビューの画像をタップし、[カメラ] ボタンをタップします。



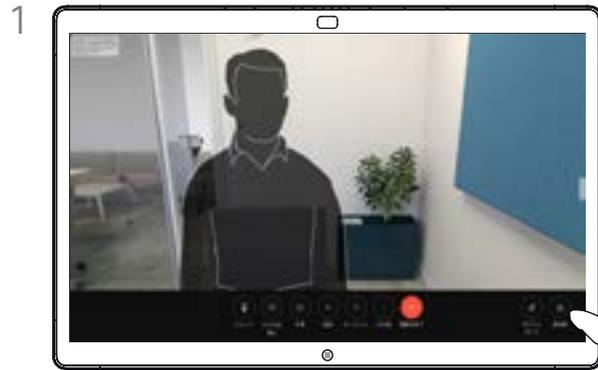
コントロールを使用して、カメラのパン、傾き、ズームを行います。画面の他の場所をタップして終了します。

手動カメラ制御について

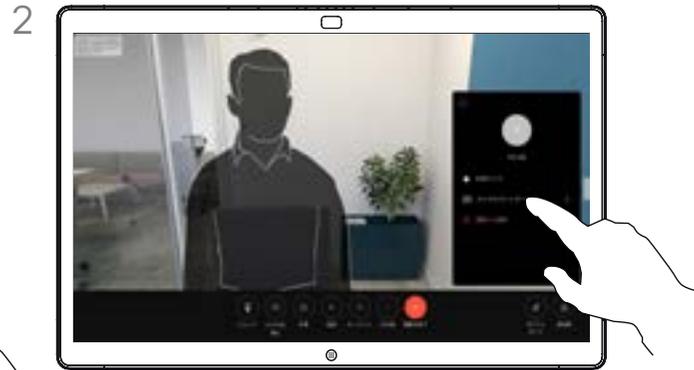
カメラのズーム、パン、および傾きを手動で制御できます。

カメラを手動で調整する場合、気に入ったビューがあれば保存して再度使用できます。定義済みのズームおよびカメラ方向でカスタムビューを作成して保存するには、Board に接続されたタッチコントローラを使用する必要があります。Board にタッチコントローラが接続されている場合は、『RoomOS 11.1 Room Series ユーザーガイド』を参照してください。

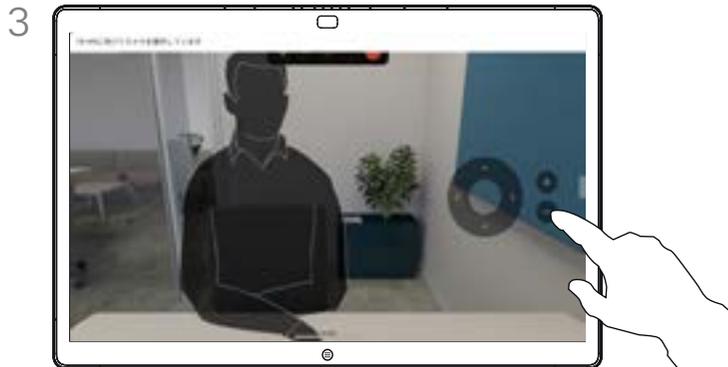
遠端カメラ制御



通話中に画面をタップして通話制御を取得します。次に、[参加者] ボタンをタップします。



制御対象のカメラを持つ参加者を選択します。次に [カメラ制御] をタップします。



リモートカメラの傾き、パン、ズームをカメラ制御ボタンで調整します。完了したらカメラ制御以外の場所をタップします。

遠端カメラについて

ビデオコール中に、他のデバイスにリモート制御可能なカメラが 1 台以上ある場合、自分のデバイスからそれらのカメラを制御できます。

遠端デバイスによって、カメラが発言者に追従するスピーカーモードを有効にしているか、または最適表示を使用している場合、カメラをリモートで制御できません。

カメラプリセットにリモートアクセスすることはできません。



設定

設定

コントロールパネルとデバイス設定

[設定] メニューで、デバイスの情報を確認したり、設定をいくつか変更したりすることができます。

- 概要 - ビデオアドレス情報、IP および MAC アドレス、SIP プロキシ、および現在のソフトウェアのバージョンを提供します。
- 問題と診断
- Bluetooth の有効化および無効化
- 着信音を選択してボリュームを設定する
- 音楽モードをオン/オフにします。
- ホワイトボードの外観を切り替える
- 電話サービスの選択
- 有線またはワイヤレス (Wi-Fi) 接続から選択します
- デバイスを再起動します
- 工場出荷時リセットを実行して、工場出荷時のデフォルト設定に戻します。これを行うと、現在の登録が失われます。工場出荷時の状態へのリセットを元に戻すことはできません



設定へのアクセス

コントロールパネルを開くには、画面の右側からスワイプするか、またはホーム画面の右上隅にあるボタンをタップします。カメラが開いている場合は、上部のパネルにセルフビューが表示されます。コントロールパネルに次の情報が表示されます。

- カメラ制御
- 自画面
- 背景
- マイクのオプション
- Standby
- 画面の明るさ
- デバイスの音量/スピーカー
- デバイス設定へのアクセス
- セッションの終了 (ホワイトボードまたは注釈を作成している場合)

[設定] メニューを開くには、右にスワイプしてコントロールパネルにアクセスします。次に、[デバイス設定] をタップします。メニューが開き、スクロールできます。通話中の場合、メニューが通話の上にダイアログとして開きます。

使用可能な設定は、管理者によって制限されている場合があります。



北中南米本部
Cisco Systems, Inc.
San Jose, CA

アジア太平洋本部
Cisco Systems (USA) Pte.Ltd.
シンガポール

ヨーロッパ本社
Cisco Systems International BV Amsterdam, オランダ

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号はシスコのウェブサイト(www.cisco.com/go/offices)をご覧ください。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、www.cisco.com/jp/go/trademarks をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)